

鐘淵紡績株式会社(A)

—— 定年制廃止 ——

5

昭和39年(1964)5月6日、鐘淵紡績株式会社は創立77周年記念日を迎えた。記念式典の席上で、武藤絲治社長は「従業員繁栄対策宣言」を読みあげ、「定年制の廃止」を発表した。

「従業員繁栄対策宣言」

10

鐘淵77年の歴史と伝統を一貫して流れ来たった崇高なる経営の根本精神は、「愛と正義の人道主義」に基づくものである。鐘淵の先人・諸先輩の汗と脂の奮闘努力の跡は、鐘淵をして「愛と正義の人道主義の殿堂」たらしめるという理想の追求とともに、鐘淵の繁栄は従業員の繁栄という思想を鐘淵の経営哲学として実現することであった。今や鐘淵は社中一体、敗戦の廢墟の中から幾多の困難を征服して復興し、グレーター・カネボウの大理

理想たる「鐘淵をして天下第一等の会社とする」と同時に、「会社の繁栄は従業員の繁栄」実現の計画を着々達成しつつある。

15

ここに第一次グレーター・カネボウの建設計画の大半を終了し半歳の後に第二次計画を迎えんとするに当り、鐘淵は従来の従業員繁栄計画を更に充実強化せんがため、別紙のごとき新しい従業員繁栄対策を樹立することにした。

20

吾ら鐘淵社中の戦友同志・兄弟姉妹は、新たなる希望と忍耐をもってますます固く団結し、「従業員の繁栄」を通じて、「鐘淵の繁栄」を期するとともに、鉄石の意志と熱情をもって、鐘淵が有史以来堅持したる先駆者的開拓精神のもと、衣・食・住の分野における事業を推進し、「鐘淵の繁栄」を通じて、「祖国日本の繁栄」に貢献することを固く決意し、ここに厳粛に社の内外に宣言する。

25

1. 現行定年制の廃止と新しい従業員制度の実施

鐘淵の男子従業員は何人といえどもグレーター・カネボウ建設のため善意をもって働く意志と能力と十分なる健康を保持する限り生涯にわたって職場を約束され物心両面の処遇を与えられる。

30

その大要次の通りである。

(1) 現行の定年制を廃止する。

定年制的年令の制限ではなく健康その他現実的配慮に基づき原則として65才迄その勤

このケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールにおけるクラス討議の資料として用いるために、同スクール教授石田英夫が作成した。ケースは経営管理上の処理の適切なあるいは不適切な例を示そうとするものではない。

35

(1967年5月作成)